

# SPring-8 利用者懇談会ポリマーサイエンス分野会議 議事録

## --- 高分子科学研究会&高分子薄膜・表面研究会合同第1回会合 ---

### 1) 開催日時、場所、参加者、プログラム

#### [第1部 全体会議]

開催日時 : 2006年7月7日(金) 12:45-13:30  
開催場所 : SPring-8 構造生物学研究棟 1F 大セミナー室  
参加者 : 32名(別紙参照)  
プログラム :

- 12:45-12:55 高分子科学研究会発足の目的、今後の活動方針について  
高分子科学研究会 代表 田代 孝二 (豊田工業大学)
- 12:55-13:05 高分子薄膜・表面研究会発足の目的、今後の活動方針について  
高分子薄膜・表面研究会 代表 高原 淳 (九州大学)
- 13:05-13:15 利用者懇談会利用促進委員会について  
ポリマーサイエンス分野担当評議員 雨宮 慶幸 (東京大学)
- 13:15-13:25 共用BLの現状とBL新設の方向性について  
JASRI 利用研究促進部門 部門長 高田 昌樹 (JASRI/理研)
- 13:25-13:30 質疑応答

#### [第2部 自由討論会]

開催日時 : 2006年7月7日(金) 21:35-23:15  
開催場所 : SPring-8 中央管理棟 3F セミナーB室  
参加者 : 15名(別紙参照)  
プログラム : ポリマーサイエンス分野の活動戦略について自由討論

### 2) 議事内容

#### [第1部 全体会議]

高分子科学研究会田代孝二代表および高分子薄膜・表面研究会高原淳代表から、各研究会の発足の背景と目的、今後2年間の活動計画についてそれぞれ説明があった。そして、SPring-8におけるポリマーサイエンス分野における放射光利用研究の発展、及び高分子BLの実現に両研究会が協力して取り組んでいくことを確認した。また、高原代表から、課題申請から実験の実施における、レフェリー制度に基づく採択内容の遵守についての確認がなされた。

会のメンバーである利用者懇談会雨宮慶幸評議員(利用促進委員会ポリマーサイエンス分野担当)から、利用者懇談会の改組の背景と目的、新組織の特徴と役割について説明があった。利用者懇談会利用促進委員会は、SPring-8の施設(JASRI)と利用者間の連携を強化し、研究会活動の活性化に積極的に貢献すると同時に、現在未建設の14本のBLの建設に協力していく方針であることが説明された。

JASRI 利用研究促進部門の高田昌樹部門長からは、SPring-8が建設フェーズから利用フェーズへ移行に伴うJASRIの改組と、既存BLのスクラップ・アンド・ビルドを含む、新BL建設に向けた利用研究促進部門の活動方針について説明があった。また、ポリマーサイエンス分野の新BL構想を実現するための、産学官協調による建設のための外部資金獲得のスキームが一例として提案された。

高分子科学研究会山口登副代表(住友化学株式会社)は、新BL建設構想に対する建設予算獲得の観点も含めた一部の企業の意見動向と、企業所属の会員を中心に会の活動に協力していく意向についてコメントした。最後に、理化学研究所土肥義治理事より、SPring-8の研究活動に対する理研の役割と、ポリマーサイエンス分野の放射光利用研究に対する期待についてコメントを頂いた。

## **[第2部 自由討論会]**

第1部の全体会議で議事を基に、2つの研究会の活動目標の1つである、高分子新BLの実現にむけた研究会活動の方針について自由討論が行われた。その結果、研究会の中での研究分野をカバーするワーキンググループを発足させ、SPring-8でのポリマーサイエンスの位置づけと、それに基づく具体的な新BL構想について、両研究会代表を中心に産学が密接に連携して取りまとめていく方針が決定された。スケジュールとして最初のたたき台を8~9月を目処に取りまとめ、そのための準備会を各研究会で開くことが確認された。